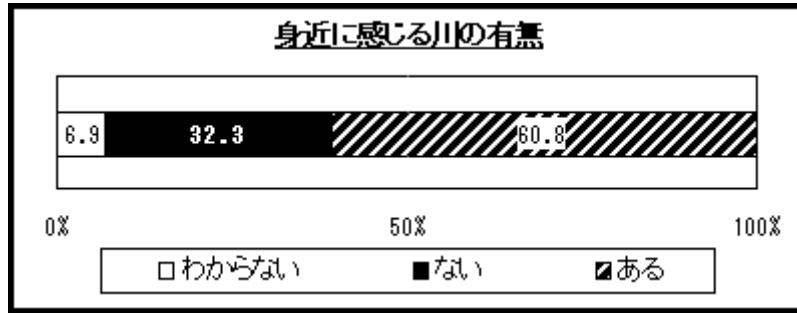


## 水と地球環境

### Q. あなたには身近に感じる川がありますか？

#### ◇ 約6割が『身近に感じる川がある』

大都市圏の河川は、水質の悪化が進み、護岸壁などによって親水性が大きく損なわれています。また、トンネル化により、河川自体が姿を消してしまいました例も少なくありません。このように、大都市圏は川に親しみにくい環境といえますが、それでも6割以上が『身近に感じる川がある』と回答しました。

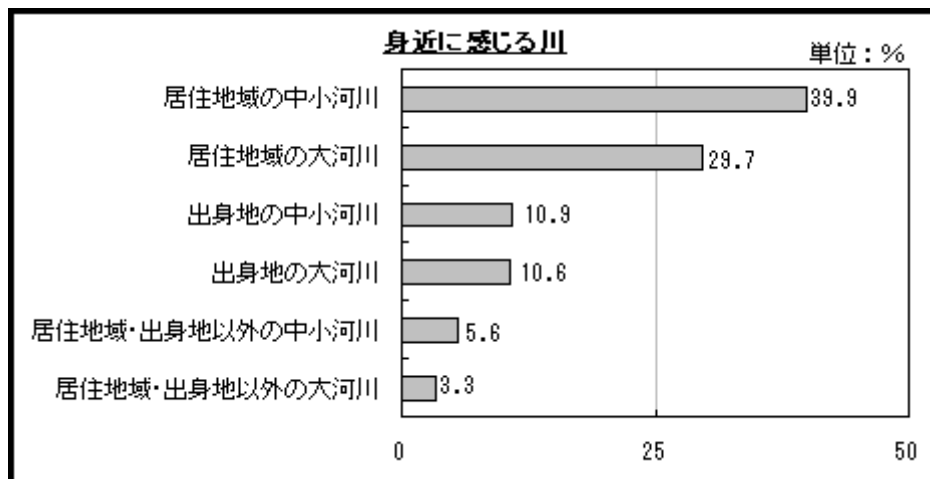


### Q. 身近に感じる川はどんな川ですか？ (6択/前問で『ある』と答えた人だけ回答/N=307)

#### ◇ 7割近くが居住地の河川を「身近に感じている」

大都市圏居住者が身近に感じる川はどんな川でしょうか？

1位『居住地の中小河川』(39.9%)、2位『居住地の大河川』(29.7%)と続き、7割近く(69.6%)が現在の居住地の川を「身近に感じている」という結果になりました。



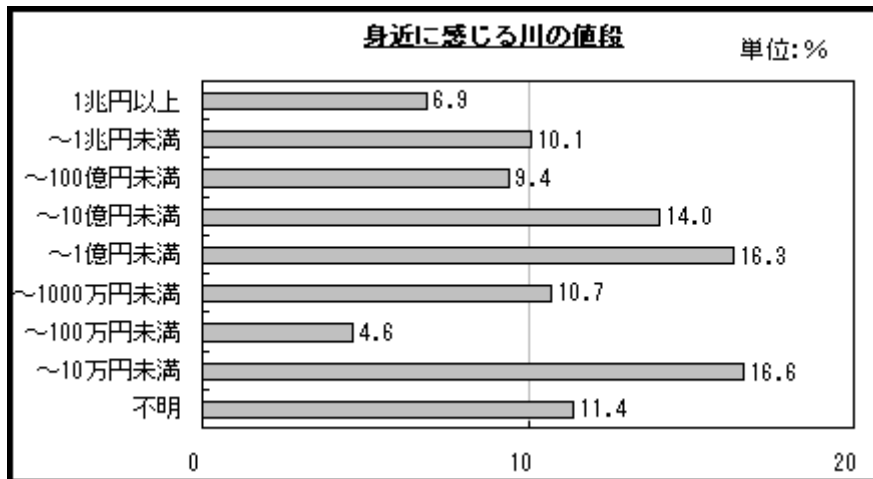
**Q. 身近に感じる川に値段をつけるとするといくら位？ (N=307)**

**◇著しいばらつきが見られる「身近に感じる川」の値段 (平均1兆7千億円)**

「身近に感じる川」に値段を付けてもらいましたが、回答は1万円未満から10兆円以上まで著しいばらつきが見られました。

経済価値には置きかえられない、回答者の川に対する“思い”や“愛着”を反映しているということでしょうか。

ちなみに、平均価格は1兆7千億円でした。



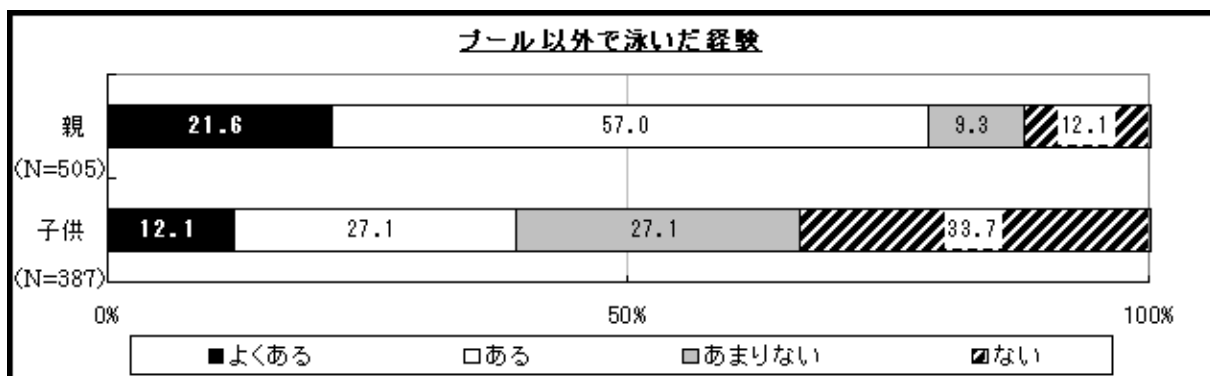
**Q. あなたは海・川・湖などのプール以外で泳いだことはありますか？**

**あなたの子供はどうですか？ (子供 孫がいる人だけ回答/N=387)**

**◇6割以上の子供たちは『プール以外ではほとんど泳いだことがない』**

本人（大人）と自分の子供について、自然の海・川・湖で泳いだ経験を聞きました。

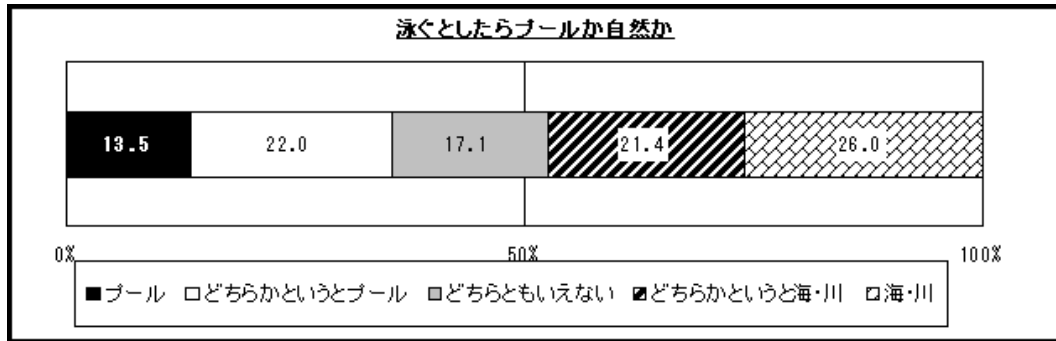
本人の場合は、8割弱が『よくある』または『ある』としていますが、自分の子供については『ない』がおおよそ3人に1人(33.7%)。『あまりない』(27.1%)と合わせると6割以上(60.8%)の子供が、自然の水ではほとんど泳いだことがないという結果になりました。



**Q. 泳ぐとしたら「清潔なプール」と「自然の川・海」のどちらがよいですか？**

◇ “自然派” が “プール派” を 10 ポイント以上上回る

清潔なプールと自然あふれる海や川。泳ぐとしたらどちらがよいでしょうか。結果は、“自然派”（『自然の海や川がよい』と『どちらかというと海や川がよい』の合計）が 47.4%、“プール派”（『清潔なプール』と『どちらかというとプールがよい』の合計）が 35.5%で “自然派”が優勢でした。



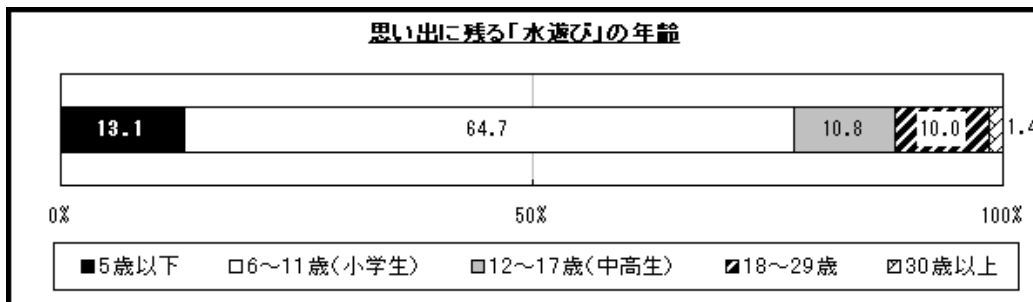
**Q. 思い出に残る「水遊び」は、何歳頃、どこで、何をしましたことですか？**

◇ 『小学校の頃』(54.7%)、『海で』(39.5%)、『水泳をした』(28.5%)

思い出に残っている印象深い「水遊び」または「水辺での遊び」について、何歳の頃、どこで、どのような種類の遊びをしたかを聞きました。[年齢]については6割以上(64.7%)が『6～11歳(小学時代)』としており、思い出の「水遊び」の[場所]は『海』(40.8%)が1位でした。また「水遊び」の[種類]については、『水泳』(33.3%)、『ザリガニ、めだか等の小魚とり』(18.4%)がトップ2でした。

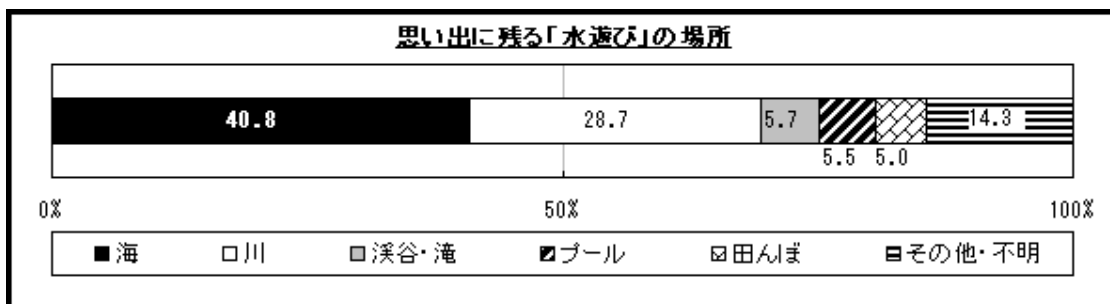
■ 何歳頃の思い出か？(年齢を記入)

64.7%が『6～11歳』の頃と答え、『5歳以下』、『12～17歳』、『18～29歳』を挙げた回答者はいずれも1割程にとどまりました。



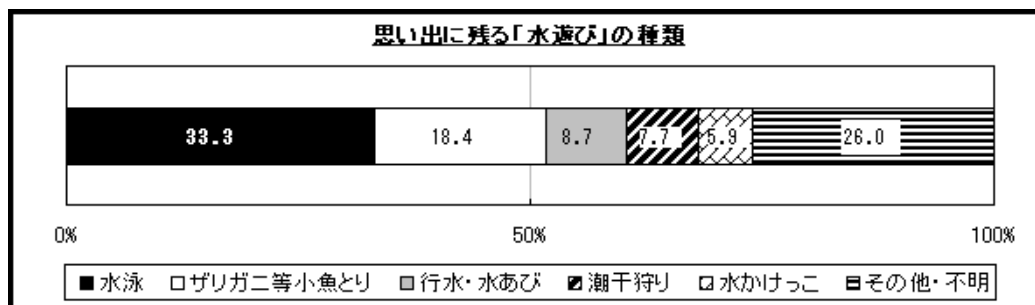
■どこで体験した思い出か？(14 択+その他)

『海』が4割を超えて圧倒的トップ。以下『川』(28.7%)、『渓谷・滝』(5.7%)、『プール』(5.5%)、『田んぼ』(5.0%)などと続きました。



■どんな「水遊び」をした思い出か？(17 択+その他)

トップの『水泳』(33.3%)以下、『ザリガニ、めだか等の小魚とり』(18.4%)、『行水・水あび』(8.7%)、『潮干狩り』(7.7%)、『水かけっこ』(5.9%)などと続きました。



**Q. 思い出の「水遊び」を最近しましたか？**

**自分の子供（孫）にその「水遊び」を体験させたいと思いますか？**

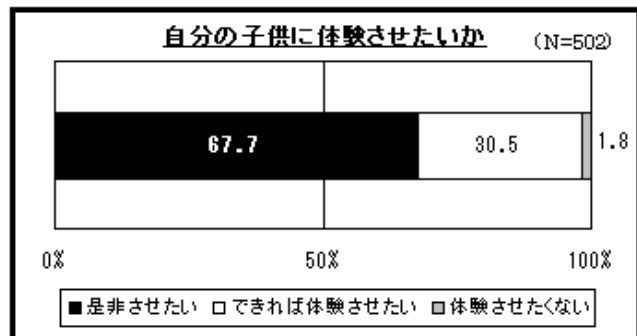
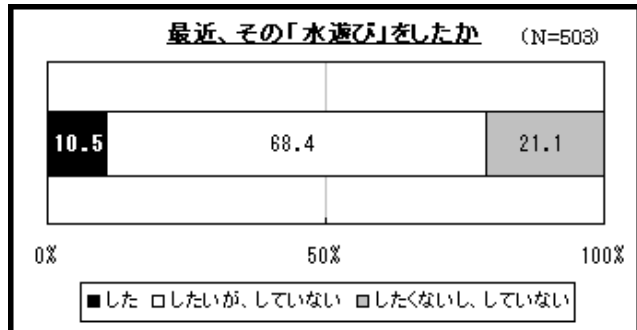
◇68.4%が思い出の「水遊び」を『したいが、していない』

◇自分の子供にも『是非（体験）させたい』が67.7%

前問の「思い出に残る水遊び」について、「最近、その遊びをしたか?」、「その遊びを自分の子供や孫（いない方の場合はいと仮定して）に体験させたいと思うか?」の2点について答えてもらいました。

「最近したか?」については、『した』は1割強(10.5%)にとどまり、『したいが、していない』(68.4%)が多数を占めました。

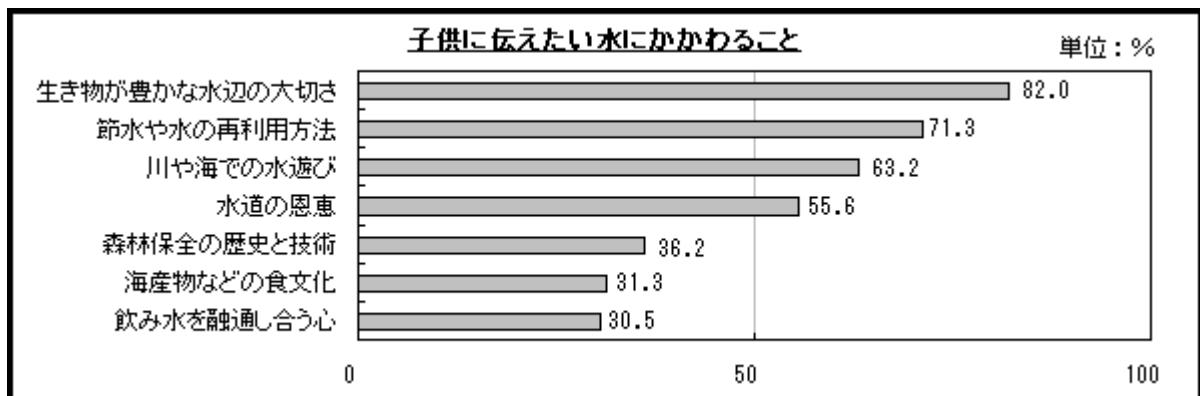
「子供に体験させたいか?」については、67.7%が『是非させたい』と回答、『させたくない』はわずか1.8%でした。



**Q. 水にかかわることで、子供に伝えたいと思うことは？ (10 択+その他/複数回答)**

◇もっとも子供に伝えたいことは『生き物が豊かな水辺の大切さ』

「水遊び」に限らず、水にかかわるあらゆることで、子供に伝えたいことを聞きました。トップは『生き物が豊かな水辺の大切さ』で82.0%、以下『節水や水の再利用方法』(71.3%)、『川や海での水遊び』(63.2%)、『水道の恩恵』(55.6%)までが過半数に達しました。

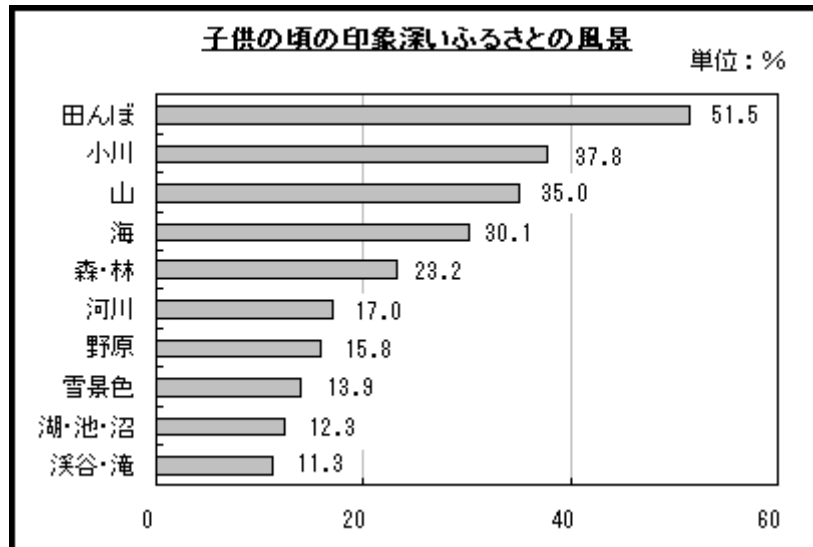


### Q. 子供の頃の印象深いふるさとの風景は？（10 択+その他/複数回答）

#### ◇『田んぼ』『小川』『山』がトップ3

子供の頃のなつかしい思い出と結びついた、印象深いふるさと風景について聞きました。その結果1位は『田んぼ』（51.5%）で、唯一半数を超えました。以下『小川』、『山』、『海』、『森・林』などと続きました。

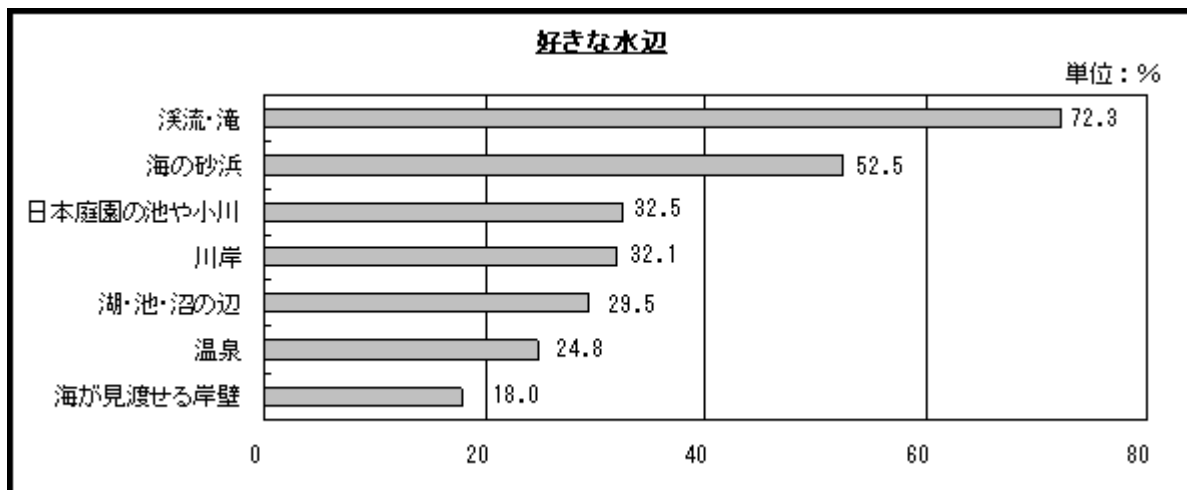
『田んぼ』はあらゆる年代でトップを占めており、まさに日本人の原風景といえそうです。



### Q. あなたが好きな水辺は？（15 択+その他/3 つまで選択）

#### ◇都会人の人気トップは『溪流・滝』（72.9%）

都会人にとっては、今や気軽に行くことができない場所が1位・2位を占めました。まず『溪流・滝』（72.3%）が7割を超えて圧倒的なトップ。『海の砂浜』（52.5%）も半数を超えました。

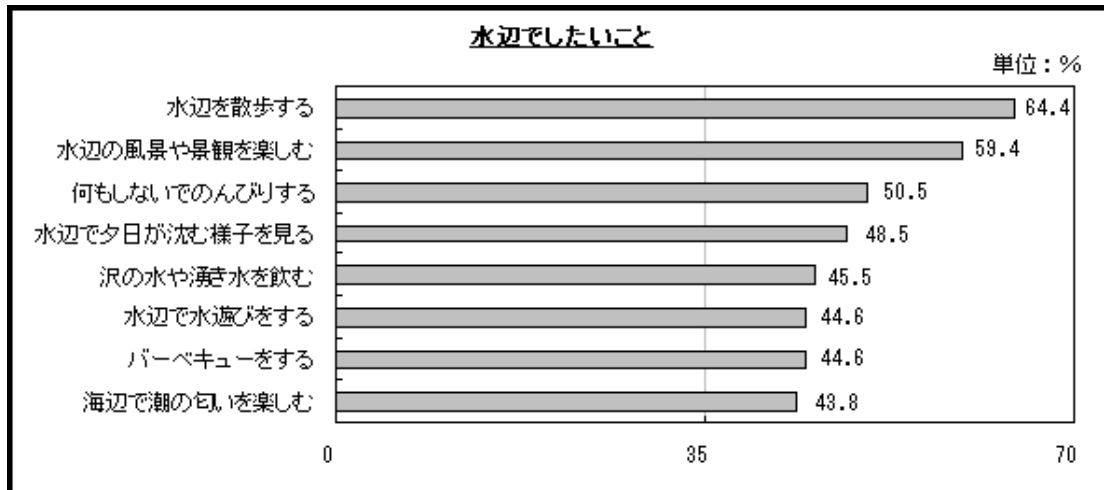


## Q. 水辺でやってみたいことは？（22 択+その他/複数回答）

### ◇水辺は現代人の“リラクゼーション・スポット”

#### トップ3は『散歩』『風景や景観』『何もしないでのんびり』

トップ3の『水辺を散歩する』（64.4%）、『水辺の風景や景観を楽しむ』（59.4%）、『何もしないでのんびりする』（50.5%）が半数を超えました。いずれも「静かに自然を楽しむ」という風情の回答でした。回答率4割を超えた上位8項目を見ても、能動的な活動としては『水辺で水遊びをする』と『バーベキューをする』が44.6%で6位に並んでいるくらいです。



## Q. 水のありがたさを感じる時？（11 択+その他/複数回答）

### ◇ありがたさを感じるトップ3は

#### 『給水制限が行われているとき』『のどの渇きを癒すとき』『自然の水に接するとき』

大都市圏生活者が「水のありがたさ」を感じるのは、どんなときでしょうか。

1 位『給水制限が行われているとき』（65.0%）、『水を飲んでのどの渇きを癒すとき』（63.8%）、『海や川などの自然の水に接するとき』（57.6%）、『入浴やシャワーを浴びているとき』（47.5%）などと続きました。

